

みんなの力で次世代育成を推進!

親の学習手引書 親子手帳

をご活用ください

★生涯学習課 ☎ 23248



出生届提出時等にお渡ししています

「親の学習」という言葉を
ご存知でしょうか?

「親の学習」とは、親としての力を付けるための学習で、次世代育成を推進するために重要なものです。

今の日本では、地域社会や家庭の結びつきが弱くなるとともに、長い年月で培われた子育ての技術や伝統が失われつつあります。そのため、親としての力を十分身につけられないまま子どもを持ち、子育てに悩んだり、困難を感じている人が増えています。

「親の学習」は、このような悩みを持つている人をサポートし、「親」が「親」として成長するための学習や、将来親になる中学生・高校生に「親になるための学習」を体系的に実施するもので、埼玉県や県内市町村でそれぞれ推進されています。

『親の学習手引書』が
完成しました

市では、「子育て参加率日本一のみち」を目標に、健全な次世代育成に市をあげて取り組んでいます。その一環として、『親の学習手引書』を作成しました。

この『親の学習手引書』は、次のような特色があります。
①市民のみなさんによる手引きの手引書です

通常、「手引書」の作成では、その分野の専門家が執筆するものですが、『親の学習手引書』では、「埼玉県親の学習指導員」の資格を取得した市民のみなさんを中心に、子育て支援、学校、幼稚園、保育園など関係各方面の有志のみなさんと編集委員会を結成し、委員自らが原稿を書き、編集会議を20回以上行いながら作成しました。

②身近で分かりやすい内容を
目指しました

みんなが読んで分かりやすいように、編集委員自らの経験や勉強したこと、日ごろ考えていることを中心に編集されています。

目標は
「子育て参加率日本一のみち」

今後は、手引書を活用した「親の学習」事業を本格的に開始し、さまざまな子育て支援事業と連携しながら、次世代育成を総合的に推進します。みんなの力を合わせて「子育て参加率日本一のみち」を目指しましょう。

『親子手帳』に
成長の記録を残しませんか

『親の学習手引書』の別冊である『親子手帳』は、親子の絆を強められるように、子育てに役立つように、という願いを込めて作りました。

お子さんの成長の記録や出来事、親の気持ちや思いを誕生から中学校卒業まで1年ごとに書き込むことや写真を貼り付けることもできます。どうぞご利用ください。

『親の学習手引書』・
『親子手帳』は無料配布です

『親の学習手引書』は、中学3年生までの子どもを持つ保護者に対して1世帯につき1部、『親子手帳』は、子ども1人につき1部を、学校・幼稚園・保育園等を通じて配布しています。

このほか、市役所や保健センター、公民館などにも用意してありますので、ご自由にお持ちください。

■本庄市親の学習手引書
編集委員会の諏訪秀一委員長にお話を伺いました

いちばん訴えたかったのは、「今、お宅のお子さんが当面している発達課題は何か」ということです。

子どもが成長していくうえで、今、我が家では何に留意し、どんな支援が必要なのか。親は、我が子のどこに注目し心から褒めることが必要なのか。



諏訪 秀一氏
神川中学校校長、本庄東中学校校長を歴任。現在は、「心豊かな子どもの育つふるさとづくりの会」運営委員長。

か。必要に応じて必要な部分をお読みいただき、確認したり、話題にしたり、深める足掛かりになれば幸いです。

『親の学習手引書』は、初め「親として」「家族・家庭」について書き、次に子どもの発達段階を「乳幼児期」「小学生期」「中学・高校生期」に分けて説明し、それぞれの時期での「子育て・しつけ」「子どもの健康・安全」「子どもの学習」についての取り組み方法を述べ、人間力を育てる「地域・社会とのかかわり合い」で結んでいます。

「私のことを、もっとわかってほしい。」という願いは、どの子も持っています。

平成23年市議会第2回定例会

平成23年市議会第2回定例会が、6月6日から27日までの日程で開催されました。

市長提出議案として、『本庄市民プラザ設置及び管理に関する条例を廃止する条例』、総額を歳出歳入それぞれ2億5,342万5千円とする『平成23年度本庄市一般会計補正予算』など14議案が上程、議員提出議案として『原子力発電所の安全対策の抜本強化を求める意見書』など3議案が上程され、すべての議案は、原案のとおり可決・同意・承認され閉会しました。

議長に 木村広二氏
副議長に 柿沼光男氏

議会1日目の6月6日に議長・副議長選挙が行われ、議長に木村広二氏、副議長に柿沼光男氏がそれぞれ選出されました。

農業委員に倉林道雄氏

農業協同組合推薦委員の吉野勉氏が6月14日付で退任され、6月27日付で新たに倉林道雄氏が農業委員に選出され



議長 木村 広二氏



副議長 柿沼 光男氏

酒井了副市長選任に同意

田雑隆昌副市長が6月30日付で退職(国土交通省へ帰任)することに伴い、7月1日付で酒井了副市長(36)(国土交通省東北地方整備局建設部都市住宅整備課長)を選任することに同意が得られました。



酒井 了 副市長



農業委員 倉林 道雄氏

ました。

叙勲、危険業務従事者叙勲 褒章に各氏

政府は、東日本大震災の影響により延期されていた平成23年春の叙勲等の受章者を発表し、4月29日付けで発令されました。

市内では、3人の各氏が受章されました。おめでとうございます。

【叙勲】

▽瑞宝単光章(専門工事業務 功労)



鈴木 進氏 (小島2丁目)

【危険業務従事者叙勲】

▽瑞宝双光章(警察功労)



長谷部 邦彦氏 (見福1丁目)

【褒章】

▽藍綬褒章(更生保護功績)



関根 ツル氏 (児玉町吉田林)

保留地宅地を 公売します



市では、土地区画整理事業施行地内の宅地(保留地)を次のとおり公売します。

受付 9月6日(火)～10日(土) 午前8時30分～午後5時15分

受付場所 都市計画課(市役所2階)

※10日(土)は、市役所1階市民ホールで受け付けます。

公売方法 公開抽選方式

公売地位置図



※詳細な位置図は、都市計画課でご覧ください。

面積・公売価格

| 地区 | 公売番号 | 面積 (㎡) | 単価 (円/㎡) | 公売価格 (円) |
|-----|------|--------|----------|------------|
| 児玉南 | ① | 521.68 | 21,800 | 11,372,624 |
| | ② | 508.63 | 13,100 | 6,663,053 |
| | ③ | 336.83 | 20,600 | 6,938,698 |
| | ④ | 173.45 | 17,800 | 3,087,410 |
| | ⑤ | 110.95 | 18,800 | 2,085,860 |
| | ⑥ | 342.64 | 19,300 | 6,612,952 |
| | ⑦ | 191.77 | 20,800 | 3,988,816 |

※9月5日(月)までの間でも、随時先着順(法人可・購入区画制限なし)による公売も実施しています。この場合、右表の公売価格と異なります。

申込資格・要件

・市税を滞納していない個人
・申し込みは、1世帯につき1画地まで

抽選日時 9月28日(水)

受付 午後1時30分～

抽選 午後2時～

抽選会場 市役所5階504会議室

※詳しい案内書を配布しています。都市計画課までお問い合わせください。

★都市計画課 ☎ 1144